

## 新年度（令和3年度）の始まり

緊急事態宣言下での新年度のスタートとなった昨年度とは異なり、「with コロナ」の「新しい学校様式」での新年度の学校生活が無事にスタートしました。昨日の入学式、そして本日の始業式・対面式が「新しい学校様式」の中であっても、みんなで対面して実施できたことが何よりで、「学校ならではの良さ」を改めて実感することができました。

本日の生徒が登校してくる様子は、嬉しさと楽しさ、そして若干の緊張と不安が入り混じっている雰囲気を感じました。新しい年度、新しい教室、新しい担任・先生方、新しい仲間、そして今までの自分・新しい自分と、本日からの学校生活をどのように過ごしていきますか？

## 中学校も「新しい〇〇」へ

実は今年度においては、皆さんだけが「新しい〇〇」になるだけでなく、先生たちにとってもとても重要な「新しい〇〇」の中で過ごしていくことになります。それは「新しい中学校学習指導要領」が完全実施されるということです。この「新しい中学校学習指導要領」には、全国のどの中学校でも取り組んでほしいことが書かれています。その内容の趣旨としては、「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすること」であり、具体的なキーワードで表すと、「持続可能な社会の創り手の育成」「社会に開かれた教育課程」「主体的・対話的で深い学び」「何をまなぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」「個々の子供の発達をどのように支援するか」「個別最適な学び」「協働的な学び」などが書かれています。

その「新しい中学校学習指導要領」が完全実施されることにより、教科書も大きく変わりました。もちろん、教科書だけでなく、授業のあり方や評価の仕方など、学校生活のあり方も大きく変わります。つまり、先生たちにとっても、新しいことへのチャレンジの1年になります。今後、新しい学校生活の様々な場面で、生徒の皆さんだけでなく、保護者の皆様のご理解とご協力が必要なきもあると思いますので、そのときはよろしく願いいたします。

すべては「生徒の皆さんの未来のために！！」

## 「生徒指導部」から「生徒支援部」へ

そんな中、これまでの「生徒指導」と言われてきたものも、これからの時代に適したものにしていこうと「生徒支援」という言葉で表すことにしました。ただ表記の変更だけでは意味がないということで、もう一度「生徒指導」に関することを全教職員で見直しながら、これからの「生

徒支援」の在り方を考えました。もちろん、簡単に答えが出るわけではなく、まだまだ模索している最中ではありますが、以下のような方針で考えていきたいと思っております。

- 「生徒」を学校の主語にする
- これまでの学校ならではの慣例や文化を、これからの学校文化（令和型学校文化）に  
もう一度改めて見直してみる
- いのちに関わること、相手を傷つけることや法律に触れることについては、これまで通り  
毅然とした態度で指導をする

時代の変化が激しすぎて何が正解なのかわかりづらい中ですが、「生徒支援部」として「生徒の皆さんの未来のために」精一杯に見守り支えていきたいと考えています。

## ～めざす楠葉西中生～

**学校教育目標** 「学びあい、つながりあい、将来の夢を語れる学校」  
 ～「自立」「協働」「創造」に向けた主体的な学びを支援、未来への可能性を最大限に伸ばす学校～

「生徒支援部」として、上記の学校教育目標をもとに、改めてこれからの時代を生き抜く楠葉西中生を考えてみた結果が、以下の「生徒支援目標」です。

**生徒支援目標** (1) 自ら考え、判断し、行動できる生徒（自立）  
 (2) 自分自身とまわりの人を大切にできる生徒（協働）  
 (3) 相手のことや先のことまで考えた言動をとることができる生徒（想像・創造）

まずは生徒の皆さん自身が、この「生徒支援目標」を意識してこれからの学校生活を送るよう  
 にしてください。先生たちもこの「生徒支援目標」をもとに、これからの授業を中心とする様々  
 な取り組みを考えていきます。

ちなみに、過去の「生徒指導部便り」には、右のような「めざす楠葉西中生」が載っていまし  
 た。これらは、いつの時代にもどれも  
 大切なことだと思いますので、温故知新  
 の精神で、これまでの自分よりも“さら  
 に上”をめざせるように、いろんなこと  
 にチャレンジしていきましょう！！

### 『楠葉西中生であることに誇りを持とう！』

- ① 学校生活・授業を大切に（テスト前だけ頑張っても・・・。）
- ② 礼儀礼節（社会生活のなかで、大切なことです。）
- ③ 規律（ルール）を守る（みんなが過ごしやすい生活空間を。）
- ④ 今、未来に必要なことを常に考える（必ず過去の自分に感謝する時が来る。）
- ⑤ 常に保護者・地域の方々への感謝を忘れない（当たり前ですな。）

## Hot News ホットニュース

「ホッ」と、うれしくなる  
 ニュースをお知らせします！



◇ 4月6日（火）の入学式前日。新2年生が入学式の式場準備や教室整備に登校してきました。テキパキと各自の役  
 割を果たし、予定よりも早く、綺麗に仕上げることができました。おかげで、素晴らしい入学式を行うことができま  
 した。また、4月7日（水）の入学式後の片付けでは、男子卓球部と剣道部の皆さんの積極的な温かいお手伝いがあ  
 り、速やかに滞りなく終わることができました。本当にありがとうございました！

# 「新しい学校様式」の再確認

今年度こそは、新型コロナウイルス感染も治まり、再びこれまで通りの安心した学校生活を送れることを願っていましたが、治まるどころか、むしろ感染者の急増および変異株の拡大により、今まで以上に慎重に各自が感染予防対策をきちんと行っていく必要があります。

そこで、改めて学校生活を皆が安全に安心して送るために、「守ってもらうこと」「協力してもらうこと」を以下にあげておきますので、必ず確認しておいてください。

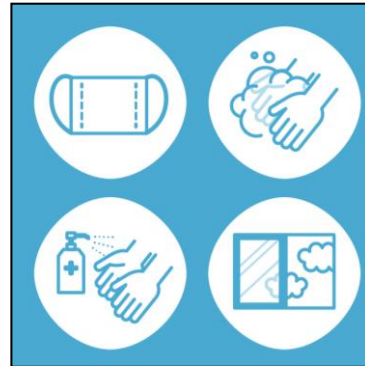
## ➤ 毎朝の検温を続けてください

これまで“体温”“体調”を確認していましたが、今後も継続します。毎朝の検温を実施し、体調の管理・把握を続けてください。できれば、ご家族の皆様も取り組んでいただきますよう、よろしくお願いいたします。

## ➤ 感染拡大につながる3つの条件を避けてください

3密と呼ばれる条件(“換気の悪い密閉空間”“多くの人が密集した状況”“密接した近距離での会話”)については、これまで同様避けてください。

この3条件が重ならなくても、この一つ一つが感染のリスクを持っています。学校内だけでなく、登下校中も含めて、これらの条件が発生しないように気を付けてください。



## ➤ マスクを着用してください

学校での学習や集団生活において、飛沫感染を予防するために必要です。これまで同様、登校する際は忘れずにマスク着用をしましょう。(原則、家を出発してから帰宅するまで。)

### 布マスクの洗い方

※ご注意※「使い捨てマスク」は、ウイルスをキャッチする性能が低下するため、基本的に、再利用はおすすめしません。

翌日の使用に備えて、マスクに付着したウイルスを不活化させましょう。

**①換気の悪い  
密閉空間**

**②多数が集まる  
密集場所**

**③間近で会話や  
発声をする  
密接場面**

新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。イベントや集会で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

**3つの条件がそろった場所が  
クラスター(集団)発生の  
リスクが高い!**

※3つの条件のほか、共同で使う物品には消毒などを行ってください。

## ➤ 手洗い・咳エチケットを徹底してください

学校では、特にたくさんの方が手を触れる箇所の消毒を実施しています。しかし、多くの方が活動する環境下では、様々な場所にウイルスが付着している可能性があります。『外から教室などへ入る時』『トイレの後』『飲食の前後』など、こまめに手を洗うことが重要です。その際は、流水と石けんでしっかりと洗い、清潔なタオル等で拭いて乾かしましょう。

また、咳や大声での会話は飛沫感染のリスクを高めます。マスクの着用と合わせて、咳エチケットも徹底してください。

## ➤ 規則正しい生活を送り、体調を整える

春休みが終わり授業再開にあたっては、規則正しい生活が不可欠と考えます。体調を整えなければ、些細なことから風邪をひいたりしてしまいます。「十分な睡眠」「バランスの取れた食事」「適度な運動」など規則正しい生活を心がけ、体力や免疫力が低下しないようにしましょう。

### ①手洗い

正しい手の洗い方

流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

手の甲をのぼすようにこすります。

指先・爪の間を念入りにこすります。

指の側を洗います。

親指と手のひらをねじり洗います。

手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

手洗いの前に  
・爪は短く切っておきましょう  
・時計や指輪を外しておきましょう

### ②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう

**×**

何もせずに咳やくしゃみをする

**×**

咳やくしゃみを手でおさえる

**○**

マスクを着用する(口・鼻を覆う)

**○**

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

**○**

袖で口・鼻を覆う

マスクがない時  
とっさの時

### 正しいマスクの着用

**①**

鼻と口の両方を確実に覆う

**②**

ゴムひもを耳にかける

**③**

隙間がないよう鼻まで覆う

首相官邸  
厚生労働省  
厚労省 検索

マスクは、くしゃみや咳などの飛沫からウイルスを拡散することを防いだり、手に付着したウイルスが手を介して口や鼻に直接触れることを防ぐために有効です。

1. 標準濃度の洗剤で10分間浸漬。
2. 塩素系漂白剤のキャップ7分目(15mL)を水1Lに溶かした液にマスクを10分浸漬
3. 水道水を用い十分にすすぐ
4. 清潔なタオルに挟んで水分を吸い取る
5. 形を整えて干す